



大阪府茨木市、箕面市

都市基盤の整備

ライフサイエンス等の科学技術振興の拠点となる彩都(国際文化公園都市)の基盤整備を支援します。

● 背景 ●

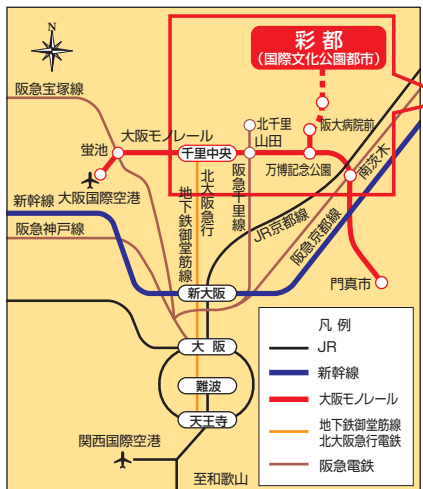
文化・学術研究(ライフサイエンス等)の拠点形成が要請されています。

彩都(国際文化公園都市)は昭和62年に第4次全国総合開発計画において「北大阪における産業、研究開発の複合プロジェクトを推進し国際的な文化、学術研究の拠点を形成する」と位置づけられ、昭和63年には近畿圏基本整備計画において「新しい開発拠点」と位置づけられました。

自然に恵まれた北大阪の立地特性を活かし、国際的な文化・学術研究拠点を形成することにより、高度情報化時代に対応した先端的機能と自然と都市が調和したアメニティ豊かな住環境を合わせ持つ、21世紀にふさわしい複合機能都市として期待されています。



医薬基盤技術研究施設(仮称)イメージ



● 事業内容 ●

都市基盤整備を支援しています。

彩都に関連する都市基盤整備を支援しています。

- ・ **事業主体** 大阪府、茨木市、箕面市、都市基盤整備公団
- ・ **事業期間** 平成6年～24年
- ・ **整備内容** 土地区画整理事業、街路事業(モノレール、共同溝)、住宅市街地基盤整備事業(道路、下水道、砂防等)

● 事業効果 ●

「住」「働」「学」「憩」のバランスのとれた街が誕生します。

平成16年4月に西部地区の一部がまちびらきし、「医薬基盤技術研究施設(仮称)」「近畿地方整備局施工)も16年夏ごろに開設を予定しています。

ライフサイエンスをはじめ、国際的な学術研究、文化交流等、特色のある機能を組み込んだ、自然と調和する緑豊かな公園都市が誕生します。

